

平成十五年度現代宗教研究所事業計画案

1、教化研究会議

(1)第三六回中央教化研究会議

●期日 九月上旬一泊二日

●会場 宗務院会議室

●教区教研運営委員や関心のある教師の参加

●運営会議を開き、内容を協議し、企画・運営などの要綱を決定する。会議資料を作成する。

(2)教区教化研究会議の開催運営

●全教区での開催運営。

●中央教研との関連を踏まえ、各教区・管区で教化の現場に関連するテーマを企画し、教化研究の充実を図る。

●教研運営委員と協議し、地域の独自性を加味し、企画・準備・運営に取り組む。

2、研究部門

(1)日蓮教学の現代化。中央教研や教化学研究発表大会

の成果を踏まえ、研究員を中心に教学の現代化について研究を行う。

(2)教化学の研究。第四回教化学研究発表大会を開催し、教化のあり方、現代教化の方策を研究する。必要に応じて、教化学研究集会を開く。研究発表を通じて、中央教研と教区教研との交流をはかる。

(3)教団論の研究。第十四回法華經・日蓮聖人・教団論研究セミナーを開催し、現代の諸問題と教学・教化について研究をすすめる。

(4)研究例会。研究員各自のテーマをそれぞれの立脚点として、研究を継続し、成果を発表する。

(5)新宗教研究。法華系新興教団を中心に、研究を行

う。

(6)教団史研究。明治以降の近代日蓮教団史を中心として、他教団との関わりについてを研究する。

(7)現宗研ホームページサイト上の「日蓮宗教化セン

ターザー」を運用する。また、諸資料のデータベース

化、各種事業の公開など新たな布教伝道方法を研究

する。

- (8)「仏教各宗教化関係研究機関連絡協議会」「教団付
置研究所懇話会」への参加。

- (9)その他

3、調査部門

- (1)お題目総弘通運動三期十八年間の総括をおこない、
今後の信仰運動策定の資料とする。

- (2)女性教師の活動について研究する。

- (3)その他

4、資料部門

- (1)各教区教化センター等との連絡会議を開き、教化研
究・布教資料などの交換を図り、収集に努める。

- (2)図書を購入し、コンピュータにより蔵書を管理す
る。

- (3)教化・研究等に関するビデオの購入・保管。

- (4)各種教化資料を収集し、保管する。

- (5)創価学会など法華系教団に関する資料を収集し、保

管する。

- (6)「現代宗教研究」第三八号の発行。

- (7)「平成十四年日蓮宗年表」の発行。

- (8)教化シリーズの発行。

- (9)その他

5、会議

- (1)教化センター連絡会議を開催し、各教化センター間
の交流、情報交換などをを行う。

- (2)教区教化研究会議連絡会議を開催し、各教区の教研
運営委員とともに各教区教研間の協力と調整を図
り、一層の充実を目指す。

- (3)顧問会議・嘱託会議・研究員会議の開催。